

久喜市音訳の会コスモスライブラリー結成 40 周年記念

青木陽子講演会

(全盲の日本語教師 アジア視覚障害者教育協会会長)

終わりのなきレジスタンス ～内なる活力にしたがって生きる～

11 月 29 日(土) 14:00～16:00 (開場 13:30)

場 所 ふれあいセンター久喜 (久喜市青毛 753-1) 3 階会議室

1994 年、青木陽子さんは中国・天津に視覚障害者のための日本語訓練学校を設立しました。授業料は無料。希望者なら誰でも入学でき、しかも障害者と健常者が共に学ぶバリアフリーの学校でした。自らも視覚障害者の青木さんは人一倍の努力でハンディを乗り越え、30 年間にわたり 500 人以上の優れた人材を育ててきました。「視覚障害者はこう生きるべきだ、女性はこう生きるべきだ、という世間の〈常識〉に抗い、自らの意志を貫き通して、内なる活力にしたがって生きてきました。終わりのなきレジスタンス(抵抗)です」と語る青木さん。青木さんのお話を伺うことは、先の見えない混迷の社会に生きる私たちにとって、障害のあるなしを超えて、大きな力をもたらしてくれるのではないのでしょうか。

私たち久喜市音訳の会コスモスライブラリーは、視覚障害者等、文字を読むのに困難を抱える人たちのために、印刷物を音読する活動を行って、今年結成から 40 年を迎えました。これからの私たちの心構えを新たにするために、この講演会を企画しました。



撮影 菊地正志

<青木陽子さんプロフィール>

6 歳の時、予防接種後の高熱で失明。埼玉県立川越盲学校、筑波大付属盲学校、南山大を経て、米ニューヨーク州立大学で教育学修士号取得。1993 年中国・天津外国語学院に単身留学。翌年、視覚障害者と健常者が共に学べる日本語訓練学校設立。コロナ禍で帰国(2020 年)した現在も、中国とのオンライン授業を続けている。外務大臣表彰、中国政府友誼賞、埴保己一賞、人間の尊厳賞など受賞歴多数。1961 年生まれ。さいたま市見沼区在住。

定 員
主 催
申 込
問 合 せ

100 名(申込先着順)
久喜市音訳の会コスモスライブラリー
右の QR コードまたは下のメールアドレスからお申し込みください。
同会 ☒kukicosmos@gmail.com



*マスクの着用は各々の判断にお任せしますが、感染防止にはご配慮ください。
*駐車スペースには限りがありますので、できるだけ公共交通をご利用ください。
<裏に、「久喜市音訳の会コスモスライブラリーの歩み」を掲載しています>

久喜市音訳の会コスモスライブラリー 40年の歩み

1985（昭和60）	久喜市社会福祉協議会主催の朗読講習会（講師稲吉きよ子先生）修了後、「コスモスの会」発足。 ／声の情報誌「コスモスだより」を作成し、久喜市身体障害者福祉会視覚部会会員に配布開始。 ／久喜市ボランティア団体連絡協議会（V連）に加入。
1987（昭和62）	市立図書館が完成 対面朗読室が備わる。
1988（昭和63）	市立図書館主催の講習会修了後、受講者約30人が加わり「コスモスライブラリー」と改称。
1989（昭和64 平成元）	「広報くき」「市議会だより」の音訳開始。／個人依頼図書の音訳開始。／視覚障害のある少年のために毎月「ばくのお話図書館」作成。
1991（平成3）	朗読講習会の講師が庄野輝子先生になる。
1993（平成5）	「さつき会」（庄野先生を講師とする県内の朗読グループで構成）に入会。
1994（平成6）	「埼玉県朗読ボランティアネットワーク」（Vネット）に加入。
1995（平成7）	「くき社協だより」の音訳開始。／市立図書館主催の「名作をきく会」（平成15年から「たのしいお話会」）に協力。
1996（平成8）	市立図書館主催の「名曲と朗読のつどい」に協力。／埼玉県知事表彰を受賞。
1997（平成9）	老人保健施設「鶴寿の里 ナーシングホーム」で出前おはなし会を始める。
1998（平成10）	「ふれあいセンター久喜」が完成。対面朗読室に2つの録音室（現在3つ）を備え、コスモスライブラリーの拠点施設となる。
1999（平成11）	「広報くき」「広報くきおしらせ版」「市議会だより」が久喜市の依頼による音訳奉仕事業となる。 ／文化ともしび賞・シラコバト賞（埼玉県）を受賞。
2002（平成14）	ボランティア功労者厚生労働大臣表彰を受ける。
2004（平成16）	第24回「さつき会」を久喜市総合文化会館小ホールで主催。
2005（平成17）	録音のデジタル化開始（テープ録音したものをパソコンで編集しCDに書き込む）。／「社協だよりひだまり」が社協依頼による音訳奉仕事業となる。／創立20周年記念朗読発表会開催。
2007（平成19）	全国音訳ボランティアネットワーク（音ボラネット）に加入。
2008（平成20）	テープ録音終了。パソコンへのダイレクト録音によるデジタル化。
2010（平成22）	1市3町合併（久喜市・菖蒲町・鷲宮町・栗橋町）。関係機関協議の上、新市においても広報紙の録音資料作成団体となる。
2012（平成24）	Vネット解散。／厚生労働大臣表彰を受賞。
2013（平成25）	音訳研修会主催（全5回、講師恵美三紀子先生、近隣市町から延べ300余人参加）。
2014（平成26）	会の名称「久喜市朗読グループコスモスライブラリー」から「久喜市音訳の会コスモスライブラリー」に変更。
2015（平成27）	鉄道弘済会「第45回記念朗読録音奉仕者感謝の集い」グループ奨励賞受賞。
2019（平成31 令和元）	著作権法改正にともない、文化庁に届け出（SARTRASのサイトに掲載）、著作物の録音図書への2次的使用が大幅に緩和される。
2020（令和2）	新型コロナウイルス感染症流行下で、市関連部署・社協と協議の上、感染対策を万全にして活動を継続。
2025（令和7）	結成40周年。

音訳資料・音訳図書のご利用について

視覚障害者等、文字を読むのが困難な方は、当会で製作している次のような音訳版CDをご利用いただけます。

- ・「広報くき」「くき市議会だより」は、久喜市障がい者福祉課にご連絡ください。
- ・「社協だより」は、久喜市社会福祉協議会にご連絡ください。
- ・個人で図書・資料などの音訳を希望される方は、久喜市社会福祉協議会にご連絡ください。
- ・当会が自主制作している声の情報誌「コスモスだより」を希望される方は、当会にご連絡ください。

久喜市音訳の会コスモスライブラリー

✉kukicosmos@gmail.net